

IBM solidDB

バージョン 6.3

クイック・スタート・ガイド

このスタート・ガイドでは、IBM solidDB バージョン 6.3 の標準的なインストール手順を説明します。



製品の概要

IBM® solidDB® は、全機能搭載型のリレーショナル・データベース製品で、単一の solidDB インスタンスでインメモリー・データベースとディスク上のデータベースのシームレスな統合を実現します。さらに、各種の solidDB 間のレプリケーション・トポロジープおよび高可用性ソリューションが使用可能です。使用可能なレプリケーション・テクノロジーの 1 つに IBM InfoSphere™ Change Data Capture (InfoSphere CDC) があります。

IBM solidDB 6.3 製品は、solidDB コンポーネントと InfoSphere CDC コンポーネントで構成されています。solidDB をスタンドアロン・サーバーとして使用する場合は、solidDB コンポーネントのみインストールする必要があります。ご使用の構成で InfoSphere CDC レプリケーションをデプロイする場合には、InfoSphere CDC コンポーネントもインストールする必要があります。

1 ステップ 1: システム要件



システム要件について詳しくは、solidDB の Web ページ <http://www.ibm.com/software/data/soliddb/soliddb/sysreqs.html> を参照してください。

2 ステップ 2: ソフトウェアおよび文書へのアクセス



ご使用の構成に従って、以下にリストするソフトウェア・インストール・パッケージおよび文書パッケージを検索してください。

- IBM の Web サイトからパッケージをダウンロードする場合には、ご使用のプラットフォームに関連するソフトウェア・パッケージおよび文書パッケージを選択し、ダウンロードしてください。
- 物理メディアからパッケージをインストールする場合には、各パッケージが個別の DVD で配布されます。各パッケージで、ご使用のプラットフォーム用のインストール・ファイルにナビゲートしてください。

すべての構成に必要な solidDB パッケージ

- IBM solidDB 6.3
- IBM solidDB 6.3 Documentation

注: 物理メディアの配布では、solidDB Documentation パッケージはクイック・スタート DVD に含まれています。

InfoSphere CDC レプリケーションをデプロイする構成で追加される InfoSphere CDC パッケージ

- InfoSphere Change Data Capture v6.3 solidDB
- InfoSphere Change Data Capture v6.3 Management Console および Access Server

注: Management Console と Access Server には、独自のインストーラーが存在します。

- InfoSphere Change Data Capture v6.3 Documentation

3 ステップ 3: IBM solidDB のインストール



1. **Java™ ランタイム環境 (JRE) または Java Development Kit (JDK) バージョン 1.4.2 以降をまだインストールしていない場合は、インストールします。** これは、インストーラーを実行するのに必要です。注: Linux® システムでは、GNU Compiler for Java (GCJ) はサポートされていません。
2. **ソフトウェアをインストールします。**
 - Windows® システムでは、製品イメージ・ファイル .exe で Windows インストーラーを実行します。
 - UNIX® または Linux システムでは、該当する製品イメージ・ファイル .bin でインストーラーを実行します。
3. **solidDB パッケージのインストール・ディレクトリーで Welcome ページを開き、Release Notes およびその他の文書を読みます。**
4. **サンプルを使用可能にします。** サンプルを実行するには、各サンプル実行ディレクトリーにライセンス・ファイルを格納する必要があります。solidDB には、90 日間有効な評価ライセンスが含まれています。ライセンス・ファイルを該当するすべてのサンプル・ディレクトリーにコピーするには、copy_licenses.bat (Windows) または copy_licenses.sh (UNIX または Linux) という名前のスクリプトを実行してください。
5. **CLASSPATH 環境変数の設定に JDBC ドライバー .jar ファイルが含まれているか確認します。** solidDB のインストール時に、solidDB JDBC ドライバー・ファイル (SolidDriver2.0.jar) が 'jdbc' ディレクトリーにコピーされます。ただし、インストーラーは、ご使用の環境用に CLASSPATH 環境変数を設定しない場合があります。

4 ステップ 4: 文書パッケージのインストール



1. solidDB Documentation パッケージを、選択した場所に unzip します。
注: solidDB パッケージの Welcome ページを通して PDF 形式の英語版 solidDB マニュアルにアクセスするには、PDF ファイルを solidDB インストール・ディレクトリーの 'manuals' ディレクトリーに unzip します。
2. InfoSphere CDC Documentation パッケージの指示に従い、InfoSphere CDC Documentation をインストールします。

5 ステップ 5: InfoSphere CDC for IBM solidDB のインストール



- Windows システムでは、製品イメージ・ファイル .exe で Windows インストーラーを実行します。
- UNIX または Linux システムでは、該当する製品イメージ・ファイル .bin でインストーラーを実行します。

注: インストールの終わりに、インストーラーが、InfoSphere CDC インスタンスを構成するようプロンプトを出します。この時点では、新しいインスタンスの構成を選択しないでください。その代わりに、残りの InfoSphere CDC コンポーネントのインストールを継続して、すべてのコンポーネントをインストールした後、「IBM solidDB CDC レプリケーション・ユーザー・ガイド」(solidDB Documentation パッケージに含まれる)の構成手順に従います。

6 ステップ 6: InfoSphere CDC Access Server および InfoSphere CDC Management Console のインストール



- Windows システムでは、製品イメージ・ファイル .exe で Windows インストーラーを実行します。
- UNIX または Linux システムでは、該当する製品イメージ・ファイル .bin でインストール・スクリプトを実行します。

7 ステップ 7: 文書の検索



IBM solidDB および InfoSphere CDC for IBM solidDB: solidDB パッケージのインストール・ディレクトリーで Welcome ページを開き、Release Notes およびその他の文書を読みます。また、ダウンロードした solidDB ユーザー・マニュアルを検索するか、solidDB インフォメーション・センター (<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/soliddb/v6r3/>) でオンライン・フォーマットの solidDB ユーザー・ガイドにアクセスします。

InfoSphere CDC Management Console および InfoSphere CDC Access Server: ダウンロードした文書を検索するか、InfoSphere CDC Management Console のインストール・ディレクトリーで文書にアクセスします。

8 ステップ 8: 環境の構成



すべての構成: 「IBM solidDB スタートアップ・ガイド」の手順に従い solidDB を構成し、製品評価を実行します。
InfoSphere CDC レプリケーションをデプロイする構成: solidDB を構成した後、「IBM solidDB CDC レプリケーション・ユーザー・ガイド」の手順に従い InfoSphere CDC レプリケーション・システムを構成します。

詳細について



追加情報は、solidDB の Web ページ (<http://www.ibm.com/software/data/soliddb/soliddb/>) を参照してください。